

# 入善町 議会だより

## 3月定例議会

No. 57号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



# 優良町 村議会に

# 入善町議会



▲ 県町村議連会長から  
全国優良議会表彰の  
伝達を受ける大林議長

### 受賞の理由

二月六日、入善町議会が優良町  
村議会として全国表彰を受け、三  
月二日、富山県町村議連会長定  
期総会の席上で伝達されました。

#### ▽議会活動

一、住民全体の意思決定機関とし  
ての使命に徹し、常に議会と執行  
部が相互に理解と連帯を保ち、議  
会民主政治の基本理念に立って全  
議員一体となり、是々非々の立場  
で、批判監視につとめ、秩序ある  
議会運営につとめている。

二、六十年十月より議員定数二十  
名に減少し、少数精鋭の本会議中  
心の審議と相まって委員会活動を  
展開、議会運営においても常に研  
さんに努め、質疑討論においても  
活発な議論が行われている。

#### ▽一般行政

入善町は富山県東部に位置し、  
人口三万の県下屈指の町で黒部川  
扇状地中央の恵まれた地理的条件  
と自然環境を生かし、県下一整備  
された農業生産基盤と生活環境基  
盤の調和を得ながら、高度化する  
行政内容と複雑多様化する住民要  
請にこたえている。さらに農工商一  
体の町づくりを基調に、まちの輝  
きと愛着がもてるまちづくりを目標  
とし、その実現に全力を挙げて取り  
組んでいる。

昭和62年度予算総括表

(単位：千円)

区分	62年度予算額(A)	61年度当初(B)	増減率 (A/B)×100%
一般会計	5,516,700	5,598,700	98.5
国民健康保険会計	1,227,950	1,384,284	88.7
老人保健医療会計	1,740,080	1,683,450	103.4
簡易水道会計	20,100	18,850	106.6
育英奨学資金会計	3,420	2,620	130.5
分譲宅地会計	1,400	2,400	58.3
計	8,509,650	8,690,304	97.9

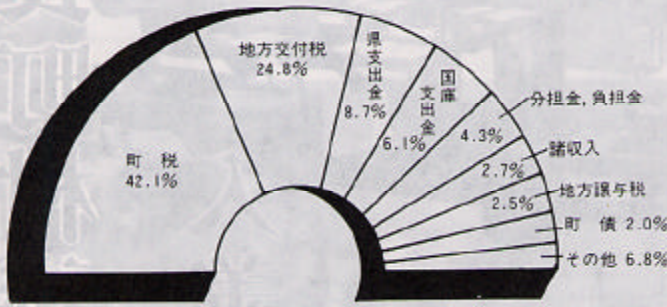
# 62年度予算案などを可決

第11回

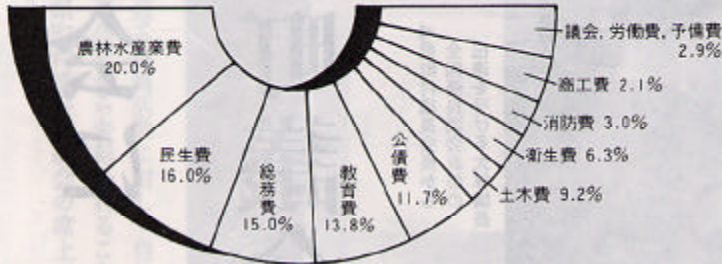
三月定例会

三月定例会は九日から二十日(十二日間)までの会期で開催され、町長の施政方針演説に引き続き、優良町村議会の表彰披露を行い、その後八議員が一般質問に立ち、提案された議案十七件、請願三件、陳情二件、議員提出議案など、原案どおり可決、採択されました。

62年度一般会計予算の内訳



55億1,670万円



主な投資的事業

◆参加とふれあいの  
あるまち◆

- 町民会館自主文化事業 九百万円
- 町民国際交流(韓国派遣) 三百五十万円
- 町史編さん(史料編) 一千三百万円
- 棚山公民館改装 一千三百万円

◆健康と生きがいの  
あるまち◆

- 町勢要覧の作成 百万円
- デイ・サービス 建設 九百万円
- 地域交流ホーム 九百万円
- 小摺戸保育所改装 一億八百万円
- 上青小学校プール建設 七千六十四万円
- 雪っ子育成推進 百万円

◆快適でやすらぎの  
あるまち◆

- 緑地公園整備 二千六百八十八万円
- 中央通り線整備促進 六百一十一万円
- 地域ぐるみ除排雪機械整備 一千百七十五万円
- 不燃物埋立地整備 二千七百万円

◆活力と魅力の  
あるまち◆

- 漁業集落環境整備 一億四千二百三万円
- 水田農業確立対策推進 五千二百六十八万円
- 防潮林設置 一千三百六十七万円
- 漁港海岸保全施設整備 一億四千八百七十四万円

# 議決したな案 主議

※昭和六十一年度入善町一般会計  
補正予算(第六号)

国庫補助に関するものと町単  
事業としてのふれあい温泉事業  
の減額が主なもので、補正予算  
の全体では六千八百四十四万円を  
減額し、歳入歳出予算総額をそ  
れぞれ六十一億二千九百七十五  
万円とした。

※昭和六十一年度入善町簡易水道  
特別会計補正予算(第三号)

国営かんばい官舎の増設に伴  
う、配水管引き込み工事に五十  
三万円を増額し、その財源は自  
担金五十三万円を見込んでる。  
※昭和六十一年度入善町一般会計  
予算(別表)

※入善町各種委員会委員等の報酬  
及び費用弁償並びに実費弁償支  
給条例の一部を改正(月額報酬)  
。教育委員会

委員長「二万八千円」を  
委員「二万九千円」に

委員長「二万七千円」を  
委員「二万八千円」に

選挙管理委員会  
委員長「九千円」を  
委員「七千五百円」に

監査委員  
「八千円」に

農業委員会  
会長「一万二千元」を  
委員「九千円」を

入善町老人福祉センター条例の  
一部を改正  
入所料(一人一日につき)  
老人「二百円」を  
一般「二百五十円」に

入善町廃棄物の処理及び清掃に  
関する条例の一部を改正  
し尿収集、運搬手数料「二〇〇  
円」につき「八十九円」を「二〇〇  
円」につき「九十円」に改める。

入善町体育施設条例の一部改正  
テニスコートの照明施設使用  
料(二面点灯一面につき)三時  
間「千円」を「千五百円」に改  
める。

※新規土地改良事業計画  
農村基盤総合整備事業として  
飯野西部地区で集落における生  
活環境基盤を総合的に整備する。  
事業量

農業集落道整備 一六〇〇〇  
農業集落排水施設整備 一五九〇〇  
集落防災安全施設整備 三八二〇〇

事業費  
二億六千万円

## 人事

昭和六十二年三月三十一日に任  
期満了となる、舟見中学校組合議  
会議員及び下山用水組合協議会議員  
について議会の選挙で次の諸氏が  
当選人と決定しました。  
。舟見中学校組合協議会議員

入善町舟見 (7名)

大林 政雄  
小森 正雄  
朝倉 彰  
上野 信夫  
水野日登志  
大割 輝明  
坂東 久男

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

入善町藤原 (6名)

中山 佐平  
袖野 成幸  
水野 啓造  
西島 長康  
吉原 裕計  
春日 敏悦

## 採択された 請願・陳情

### 請願・陳情

◇町道板屋北線改良に関する請願

◇入善十三区内の幹線道路およ  
び生活道路の消雪装置設置につ  
いての請願

◇黒東小学校通学路消雪施設に関  
する請願

◇町道上原上村国道線の一部に安  
全柵設置に関する陳情

◇橋梁拡幅事業に関する陳情  
(野中地区)

## 議会 日誌



### 二月

3日 議会たより編集委員会

5日 議会議員全員協議会

10日 下新川三町議員協議会総会  
(宇奈月町)

12日 議員研修視察  
(長野県)

13日 議会運営委員会  
(長野県)

16日 建設省等中央陳情  
(東京都)

20日 建設省等中央陳情  
(東京都)

24日 新川広域協議会(魚津市)

24日 新川広域協議会(魚津市)

26日 第10回臨時議会  
(富山市)

3日 議会議員全員協議会  
(富山市)

### 三月

2日 泉町村議事会  
(富山市)

3日 議会議員全員協議会  
(富山市)

28日 議会議員全員協議会  
(宇奈月町)

27日 中央陳情及び中央官庁職員  
との懇談会(東京都)

25日 中央陳情及び中央官庁職員  
との懇談会(東京都)

24日 下新川郡議会議長会研修視  
察(山形県)

23日 下新川郡議会議長会研修視  
察(山形県)

21日 町管内土地改良区連絡協議  
会総会

17日 町身体障害者協議会総会

15日 国営かんばい事業促進協議  
会(宇奈月町)

15日 国営かんばい事業促進協議  
会(宇奈月町)

### 四月

5日 新川林業総合センター竣工  
式(魚津市)

9日 議会議員全員協議会

10日 第11回議会定例会(提案理  
由説明)

10日 議会運営委員会

12日 議会定例会(一般質問)

13日 議会定例会(一般質問、質  
疑、各常任委員会付託)

14日 温泉地域開発特別委員会

16日 総務常任委員会

17日 文教厚生常任委員会

18日 産業建設常任委員会

20日 議会定例会(各委員長報告  
討論、採決)

23日 柵山無線施設竣工式

25日 議員O・B会総会

27日 春の消防訓練

27日 下新川郡議会議長会臨時総  
会(朝日町)

31日 文教厚生委員協議会

3月

# ここが聞きたい

一般質問

8議員が町政を問う

12日・13日

## 農・漁・商業に

### 活性化を

自民党代表質問 岡島松次郎議員(自民)

世界の国々は我が国への経済攻勢を強め、円高対策を迫られるなど極めて厳しい現況にあり、かかる時こそ地方行政の果たす役割は大きい。町長就任以来六年目の予算編成であるが、ここ数年、農業をはじめ水産業・商業に対する予算付けが低下の一途をたどっている。今後これらに対する活性化をいかに指導されるか。

農業は町の基幹産業と位置づけ六十二年度予算編成に当たってもこのことを十分踏まえ編成した。特に、稲作をめぐる転作面積大幅割当て消化など、従来行政主導型との批判もあり、六十二年度から農協を中心とした農業団体や農家自身の自主的な理解と協力に基づいた形で本町の農業を進展させるというのが特徴である。新年度予算の農林水産費十一億一千八百八十八万円は総額の二十％という大きな額であり、農業や水産業、そして商工業が調和のとれた発展を常に念頭に置いている。

水産業は二百カイリ規制あるいは、サケ・マスをめぐる情勢など厳しい。今後は、採る漁業から育

てる漁業への方向として関係団体と協議し取り組んでいる。

商工業の振興の予算にも一億一千七百二十二万円を計上しその振興に意を用いている。なお中央通り線の整備についても、単に線的な整備だけでなく、面的にも力を入れ商店街の活性化に大きく寄与するものと考えている。

予算は過去五年間で最低

問

本年度一般会計五十五億一千六百七十万円は昨年比マイナス一・五％、一昨年比二・三％、過去五年間でも最低である。内容についても法人町民税の落ち込み、国県補助の極端な減少が目立つ一方、人件費を含む義務的経費が四十五・六％と増大し、町民の最も期待する投資的経費は二四・四％と少ないが今後の対応を聞きたい。

町長

昭和六十一年度予算は当初五十五億九千八百七十万円、その他国保など特別会計を併せ八十六億九千三千万円。その後、国や県の補助事業の決定やあるいは町単事業を町民ニーズにこたえて実施す

るなど予算補正をしてきた。その結果、現計において一般会計六十一億一千九百七十五万円、当初対比で九・三％アップとなる。特別会計と合計して九十二億六千九百一十四万円であり、類似町村では決して見劣りしないものと自負している。

六十二年度の予算編成に当たっては、非常に厳しい財政、不透明な財政状況下であるが、創意工夫によりその事業の優先度や緊急度を検討し、町民の要望にこたえる予算化に努力した。

売上税導入

財政への影響が心配

問

本年度予算に売上税と税が計上されているが、売上税導入に対する町長の見解とその対応策を聞きたい。

町長

売上税の問題は、いま、国会で論議されているもので現時点で軽々に評価することは差し控えたい。この法律が国会を通過すれば来年一月から施行されるので、このことを前提として、地方財政計画などにのっとり二千六百万円の売上税と税を計上した。昨年七月の衆参同時選挙で中曽根首相が、大型間接税は採用しないと公約しておられるが、いろいろ論議が分かれるところであり、売上税という名の大型間接税だという意見もある。大蔵省の試算によれば、所得税、個人住民税、法人税で四兆五千億

円の減税をし、一方、売上税やマル優廃止等により四兆五千億円の増収をはかり、プラス・マイナスゼロになるとされている。しかし、所得税や法人税の減税により地方交付税においてマイナスの要因にならないか心配をしている。地方財政に大きなマイナスの要因となることでは納得できないというのが現時点における心境である。

中央通り線

63年着工目指す

問

国鉄入善駅から国道八号線を結ぶ街路中央通り線整備事業は多年にわたる懸案であり、町長は提案理由の説明でも昭和六十二年度から着工を目標としたいと言っている。商工会をはじめ関係住民で促進協議会を設立し早期着工を願っている。当局の積極的な決意を聞きたい。

助役

街路中央通り線の整備については、県事業として六十三年度から事業採択、着手を国県へ陳情している。この路線は、入善駅から国道八号線まで延長八百七十三メートル、幅員十六メートルで計画しており、市街地の活性化を図る町のシンボルロードとして、あるいは通勤通学、買物等生活基盤施設として、また、街路中町線とのネットワーク化を図る街路としてかねてから整備が望まれていた。

昨年からの事業の見直しや説明会などを開催し、沿線関係者の理解

協力を求めてきた。さらに国や県に対してもあらゆる機会を通じて行動しており、新年度では採択に向けた調査を、国の補助を受け県が実施する予定である。

**国保税は据え置き**

**問** 国民健康保険会計で十二億二千七百万余の予算計上であるが、その五十%は三千人の納税者からの税であり、課税限度額も最高三十九万円となり、国保税が高いとの町民の声である。また、患者一人当り医療費二十万円は県平均より多いことを心配する。更に高齢化社会到来により、老人保健医療会計についても危惧する。町長は健康と生きがい、人間性あふれる老人福祉に強い関心をお持ちだが、健康者に対する指導、教育をいかにされるか。また医療機関からのレセプトのチェックはどのようにしているか。更に、全町民一日ドック制ができないか。また、デイサービス施設の内容も含めての所信を伺いたい。

**町長** 人間何よりも健康が一番との考えに立ち、町民の健康保持のため保健活動を中心に体育や食生活に至るまで配慮している。新年度の国保税は据え置きにしたが、法改正に伴う課税限度額を二万円引き上げ三十九万円で提案している。人間ドックは早期発見、早期治療の見地から農協の協力により行



この風景もあとしばらく＝中央通り線拡幅予定地＝

っており、子供検診や婦人検診、その他事業所におけるものもあり、町民全員人間ドックの必要はないのではないかと考える。

**舟見寿楽苑横に  
デイサービスセンター**

**企画財政課長** デイサービス計画概要については、舟見寿楽苑の隣接地に約三千平方メートルの用地を取得、総事業費二億三千三百万円をもって、一人暮らし、寝たきり老人あるいは恵まれない低所得階層のお年寄を中心

にサービスを提供する場となる施設である。リハビリ訓練室、特殊浴室を整備し一日介護人員二十名程度見込んでいる。こうした施策

に伴って、三世代交流あるいは地域交流ホームなる施設も設けている。

**環境保健課長**

国保財政については、現段階における医療費の動向や老人保健法の改正によって国保の負担分が軽減される面もあり、新年度は現行税率を据え置いた。

レセプトの審査は、国保連合会で審査会を設け、内科、外科等の部門別に分けて審査が行われる。その後町へ送付され、町でも審査をし、その中で疑問のものがあれば、再審査部会にまわすというチェック体制をとっている。

町の死亡原因は成人病によるものが上位で、日常生活の習慣の積

**先見性ある予算  
具体的施策は何か**

清新クラブ代表 本多幸男議員(清新ク)

**問** 新年度予算は前年度に比べ、マインナスイ・五%の厳しいものになっている。

町長は提案理由説明の中で「厳しさの中にも先見性のある予算編成に努めた。また、町債及び債務負担行為を合わせ、公債費比率を二十%未満に堅持しながら、多様化する住民ニーズに応えていきたい」と言っておられるが、この先見性ある施策とは一体何か。具体的な構想を聞かせてほしい。

**町長** 予算に網羅された各事業は、いずれも三万町民の未来の発展にかける先見性ある施策と受けとめて

いる。

具体的には、今日の大きな政治的課題である人口の高齢化、長寿化の問題に対応するため、デイサービスセンターや地域交流ホームの事業を予算化した。

また、国際交流を促進して国際化時代に対応できるように、青年婦

ターを中心に関係機関の協力を得て保健教室あるいは成人病教室、保健相談、栄養教室、健康体操等行っている。

**補助金には  
細心の注意を**

**問** 農業にカッソを入れるために農業祭の補助金を増額したり、各地区婦人会への補助金の新設など、温かみのある配慮をされている反面、今まで続いていた補助金が減額されたり、廃止されたりしている。

カットする場合は、その団体や町民にもう少し周知徹底し、理解を求める努力が必要でないか。

**町長** 補助金は単にカットするだけでなく、その事業や意欲を促進する

ために、関係機関の協力を得て保健教室あるいは成人病教室、保健相談、栄養教室、健康体操等行っている。

ために、増額することにも留意している。  
先般、わずか二万円の補助金をカットしたところ、その団体にとっては大きな精神的な支えであったということ、お叱りを受けたことがある。弱小補助金の整理については、カットされる側の立場に立って十分念慮する必要があると痛感している。

売上税の成立前に  
予算計上した根拠は

問  
新年度予算に売上譲与税と利子割交付金が計上されている。  
三十七年ぶりの税制の大改革によって、全く新しい制度を新法案で決定し財源の配分をするものであるが、法律の成立前に予算を計上したのはどのような根拠によるものか。国、県の指導があったのか。

大蔵省の試算では、年収四百三十万円で増減税ゼロといっているが、学者団体の方では、六百三十万円までゼロといっている。町の給与所得の分布傾向はどのようになっているか。

町長  
地方公共団体の予算編成については、国の予算や地方財政計画にのっとり、年間予算として歳入歳出のバランスのとれた予算編成をすることが必要である。売上譲与税は、法案の成立とは別に、事務的な立場で計上したものである。  
企画財政課長

一月二十九日、市町村の助役、財政課長会議が開かれ、新年度に対応する国の予算編成方針や基本的な考え方について県から指示があった。  
予算の計上については、県下の市町村で足並みの乱れはあったものの、現在提案されている売上税その他の税制改正の増減を加味しながら歳入見積りを行っている。

期待される  
教師像

問  
期待される教師像はどうあるべきであるか。あわせて新聞等で取り上げられている教師の初任者研修制度について山本教育委員長の考えを聞かせてほしい。

所得階層別では、課税標準で六百万円以上の方はわずかに八十七名で、六百万円以下の人は一万三千人である。  
昭和六十年年度の統計では、町の一人当たりの課税所得は二百二十五万円となっている。県平均は二百二十二万三千円、朝日町は二百九万二千円、富山市が二百四十七万八千円であり、入善町の場合は町民の四十四%の人が勤めているけれども、反面、所得が低いといえる。

中学校の各種大会の選手派遣について、昨年からスクールバス一台を廃止したために私鉄のバスをチャーターしなければならず、各校ともかなりの負担を強いられて

いる。六十二年度は各校十万円ずつ増額となっているが、次年度はさらに実態をよく調べて再検討していただきたい。  
教育委員長  
教師の理想像とは、いろいろ見方は異なると思うが、教育の専門職として人間性豊かですぐれた人格と特性を持った人でありたいと思う。

監督委員の指摘  
どう対処したか

問  
六十年年度決算に対する監督委員の意見書に、各種工事や消耗品の購入、超過勤務の問題などが指摘されていたが、このことについて町はどのように改善されたか。

企画財政課長  
意見書の中には、直ちに対応すべきものや長期的に処理すべきものなどいろいろあり、町としても日ごろの行政執行の過程で改良・改善してきた。  
年度末における工事発注や物品の購入については、過去にいくつ

初任者の研修はその人の一生を左右するような大切なものであるが、その内容をみると、大学で当然に修めるべきものばかりであり多忙な学校運営に混乱を招くことのないよう、最善の方法が生まれてくることを期待している。  
教育長  
学校教育の中では、生徒個々の特性を伸ばすための特別活動にも大きなウェイトを置いている。  
バス一台を廃止したためにスポーツ活動や特別活動には不十分な点もあると思うが、補助金の増額など、財政的な検討も加えながら、できるだけ支障のないように配慮

# 良質米産地として 生き残る道は

五十里隆章議員(自民)

問  
農業を取り巻く環境は非常に厳しいものがある。良質米の産地としての地位を維持していくために生産性の向上やコストの引き下げについて、どう考えているか。  
また、農地流動化の問題や地域特産物の開発について、どのような計画を持っているか。  
町長  
農業をめぐる厳しい情勢を町の段階で解決するための特効薬はない。か  
あったようであるが、厳しい財政事情の中では許されるべきものでなく、今後とも自戒しながら、効率的効果的な執行に努めたい。  
総務課長  
超動については約三か所に偏っていたようだ。一つは除雪車のオペレーターに関するものであり、積雪の状態によっては止むを得ないと考えている。また、町民会館の建設に伴って、設計や用地交渉のための時間外勤務が多かったようである。  
今一つは、農政課の方に、国の会計検査や県の指導監督があったためのもので、単年度で解消されると思う。できるだけ効率的に行うよう努力する。

かなか見当たらないが、優良品質米の生産基地だと評価しており、水稲の基盤である土づくりなどに努力している。  
農地の流動化のために農地銀行を設置し、協力員などお願ひして受委託制度も進めているが、農地に対する執着心が強く、小さな兼業農家がふえて、中核農家や大型の農家がふえないのが実態である。

### 規模拡大が第一

農政課長 今後農業で生き残っていくには規模拡大が第一条件である。また、生産性の向上のためには土地を有効に使うことが必要であり、地域ぐるみの生産組織への移行や、自己の経営分析、実態の把握も重要である。さらに、水稲単一から脱皮して地域における特産を育てることもこれからの大きな課題であろう。

### 転作物の選定は

問 麦や大豆の価格引き下げがいわれられてきており、増大する転作物面積を消化するためにはこれらだけでは難しいと思う。他の作物の選定を考えているか。

園芸・畜産についても輸入による価格の低迷が心配されている。この対応策はどうか。

農政課長 麦・大豆の国内需給率は約五、六％で、ほとんど輸入に頼っており、主要作物として当分は続くであ

### 総合計画後期は 何を優先するのか

問 総合計画の前半四年間の実績を見ると、道路、用排水、雪対策などの生活環境整備は当初計画よりも進んでいるが、農業、漁業、

答 商業など、産業の基盤となるべき事業が大きく後退している。活力ある町づくりのためには、これらの事業を初期の段階で実施する必要があると思うが、今後どのように取り組んでいくのか。

後期には入善小学校や中央通り線、総合体育館など大型事業を抱えているが、どのような事業選択を考えているか。

町長

総合計画は事業の重要性や緊急度などを査定しながら毎年ローリングしており、情勢の変化や財源対応などを勘案して計画変更や先送りしたものもある。

商店街のアーケードは法的制約もあって見送った。下水道は膨大



増収を願う＝小摺戸地内＝

な予算が必要だが、農村下水道の補助などもあり、十分調査しながら順次手がけていきたい。

この後、中央通り線は国県の協力を得て六十三年度着工を予定し

### 入善小学校は

### 文化性を備えた近代校舎に

本田幸光議員(自民)

問 入善小学校改築促進協議会が昨年九月に町へ提出した要望書には二十一世紀に向けて入善町の中心校にふさわしい文化性を備えた近代校舎にしてもらいたいと要望されている。

飯野小学校が立派に完成した現在、入善小学校の改築は町民の最も関心の高い大事業である。

子供たちの生活の場にふさわしいゆとりのある校舎、学習方法の多様化など今後の教育改革に対応できる校舎、地域に開かれた学校として対応のできる校舎の建設について、町はどのように考えているか。基本構想策定委員会のこれまでの経過と今後の見通しはどうか。また、改築の年次計画と設計コンペなどの具体的なスケジュールを聞きたい。

町長

また総合体育館は土地の先行取得で布石を打つこととし、入善小学校から先にとりかかりたいと考えている。

いのでと考えていたが、予想に反して非常に荒れているという印象を受けてきた。できれば、六十三年度から着工したいという希望を強く持っている。

建設費は少なくとも十五億円はかかるの見込んでおり、そのうち国庫補助金は約一億九千万円、起債の額も三億円を下回ると考えられ町からの持ち出しが十億から十一億円くらいになると思う。

基本構想策定委員会で今後煮詰めをしていかなければならないが健全財政を堅持しながら小学校を建設していくということを考えると、六十三年から着工すればよいのか、あるいは一年おくらせて六十四年がよいのか、今少し財政的な見通しを立ててから着工の年次を決定しなければならぬと思う。

### 設計コンペは ことしの夏に

教育長 入善小学校の改築は六十三年度

先般、入善小学校を見ました。体育館は非常に古いですが、校舎は建設してからそれほど経過していな

着工を目標に、現在、基本構想策定委員会にて検討を進めている。委員会のメンバーは、改築促進協議会の代表をはじめ、教職員、PTA、町の関係課の代表で組織しており、これまでに六回の会合を重ねている。

調査研究の内容は、建設の前提条件となる学校の構成規模を見極めた上で、促進協議会からの要望をどのように取り入れるか。あるいは、敷地の利用計画、必要な施設の敷地や広さ、学習センターや特別教室の配置などについて検討している。さらに今後の教育の方向を考へながら、地域社会とのかわりや集会所としての位置づけをどのようにするかなどを協議している。

このあと、できれば六十二年の夏には設計コンペにかけたいと考えている。

直間比率の  
是正は必要

現在危機状態になっている国家財政の立て直しを図るには、行政改革の一層の推進を行うと共に根本的な税制改革が急務となっている。

税負担の不公平を是正するため、所得減税と組み合わせて売上税を導入し、諸外国と比較して著しく低いと言われている間接税をふやし、税収構造を見直しするものである。国民一人ひとりが関心を深め、あらためて税制のあり方



老朽化した体育館＝入善小学校＝

を論議することは有意義なことである。

本町でも新年度予算に売上課与税が計上されているが、町長はどのように評価しているのか。

また、法人町民税の収入見直しはどうか。

税というものは公平と公正が基本であり、国民の理解と信頼に裏づけられた望ましい税制を確立することが、国、地方を問わず要求されるものである。

現行税制では、欧米と比較して直接税の占める割合が高いと聞いている。直接税の比率が高いと不況や変動によって税収が安定して確保されないきらいがあり、計画的な行財政という観点からすれば

問題がある。納税者の理解と協力がある範囲内においては直間の比率を是正するということは一つの基本的な考え方としては必要であろう。

売上税そのものは国会で審議されるものであり、これに関連する売上課与税の計上は、国の予算、地方財政計画に基づく事務的な計上である。

法人町民税は景気の変動を大きく受ける税であり、収入予測が非常に困難である。税制改正が行われ、法人税の税率が引き下げになるということを十分念頭に置きながら、経済の動向を的確に把握することが肝要である。

円高不況が定着し、輸出依存型から国内主導型への転換の時期でもあり、産業の空洞化や雇用不安の拡大などの状況を勘案すると、税収を多く見積めることは非常に困難である。

学校教育課長 上青小のカーベットの検査はしていない。カーベットの場合は、騒音がない、保温の効果がある、吸湿性が少ないのでダニなどは普通の場合より少ないと聞いていた。

カーベットにダニ

昨日の新聞に大山町の上流小学校でカーベットのなかからダニが出たと報道されていた。入善町では上青小と飯野小にカーベットが敷いてあるが、ダニなどの検査をしたことがあるか。

売上税は

大型間接税

九里郁子議員(共産)

売上税は、原則としてすべての物品・サービスに間接税をかける仕組みであり、まさに大型間接税である。売上税総額は、大蔵省の発表では五兆八百億円、国民一人当たり四万八千円となり一番直撃を受けるのは消費者であるが、この売上税によって町民・町財政への影響をどのように受けとめ、どう対処する考えか。

また売上税に対し反対する気持があるか。

町長 今、国会で論議されており不透明

明な部分が非常に多いため町民への影響の度合はわからないが、町財政においては、地方財政計画での経済見通しの物価上昇率一・六％程度であれば、六十二年度予算中において行政経費の節減や事務の効率化等で吸収できると思う。

保育料は条例で

保育所条例の一部改正は、地方公共団体の執行機関が国の機関と



して行う「事務の整理及び合理化に関する法律」の施行により、機関委任事務から団体委任事務に変更されることに基づき改正するものであるが、その中の保育料徴収基準を条例で定めるべきだと思いが、規則にこだわる根拠は何か。

町長

事務の実施主体が市町村になり、政令で定める基準の枠組みの中で地域の実情に即した保育ニーズに応え、きめ細かい対応策を講じた。保育料徴収基準は、児童福祉法による徴収金は個別法による徴収金と解釈すれば、必ず条例で定めなければならないものとは若干異なる。また、国が示す措置費のガイドラインの通達がおくれた場合、議会への議案提出事務が難しくなることや、県下ほとんどの市町村が規則で定めていることから従来どおり規則で定めることが望ましい。

**お湯をもらえるよう  
最大限の努力を**

温泉の泉源地にある構作物は、友愛病院と交した契約書の第六条に基づくものと判断したのか、そして、友愛病院にどのような対応をとったか。

現在、交渉窓口が富山ソフトウェアエネルギー株式会社と聞かすが、どんな権限を持っているのか。

給湯と土地との交換の話や聞かすが、相手が言っている内容や町の考えは。

町長

町は権利を守る立場から構作物と判断し、昨年十二月二十日に構作物の設置は違反行為と指摘し、早期現状回復を要求する文書を出した。これに対し友愛病院から「源泉の保護管理のため八インチストップバルブをつけたい」と申し出があり、それを許可した。

富山ソフトウェアエネルギー株式会社の出資を友愛病院が行っていること聞いている。町は友愛病院の理事長との契約であり、直接の相手ではない。

お湯を無償でもらえるように、今後とも最大限の努力をしていきたい。

**公害防止に  
積極的取組みを**

富山日本電気は、発ガン性の疑いのある有機溶剤を使用しているが、公害防止協定の締結の状況と見直し、そして協定案があれば示してほしい。

公害対策費は対前年度比二・三倍になるが、その理由は何か。

舟見ベアリングの重油漏れ事件をどのように受けとめ、今後の施策にこの教訓をどう生かされるのか。

旧新和工業の社宅用地（現在美善町）の周辺の井戸五、六か所の水質検査を実施するよう申し入れをし、五年間継続するとの報告があったにもかかわらず公表されていない。その後町はどのように対応してきたか。

町長

富山日本電気とは事務的な折衝を重ねており、新年度早々にも公害防止協定を締結したい。協定内容はある程度煮詰った段階で提示したい。

油の漏出問題は、結果とすれば心配がないと結論が出たので喜んでいいる。今後このような事態が起らないよう、書面で該当する企業や会社に対し点検するよう指示をした。

富山日本電気は、発ガン性の疑いのある有機溶剤を使用しているが、公害防止協定の締結の状況と見直し、そして協定案があれば示してほしい。

**OA化の効果と  
今後の行政改革**

広瀬喜代志議員(自民)

今年町の提案理由説明で、時代の推移に即応した行政改革を目指す行政改革についてはこれまでも鋭意取り組んできたが、新年度もさらに事務事業の見直し、職員の定員管理や組織機構の点検、OA（オフィス・オートメーション）など事務改革の推進を行う……と表現されているが、過去から現在までのOA化に要した費用の総計、及び人件費との割合はどうか。また、OA化によってどのような投資効果が生じたか。

今後の維持管理と行政の合理化

環境保健課長

公害対策費は前年度二十八万七千円、新年度予算六十七万三千円であり、中小河川の水質検査体制の強化として検査手数料の増額が主なものである。

町長

社宅用地の井戸水の検査については、県の担当者から「実態を調査したが特に心配はない」と口頭で報告を受けた。また、昭和五十一年から五十五年まで、簡易水道など五か所を検査したが、有害物質は検出されていない。

電算の秘密保持については、電算委託会社との業務契約の中に秘密保持の条項が細かく示されており、万全の注意を払っている。

昭和五十六年から現在まで職員定数には変動ないが、毎年事務事業の見直しを行いながら職員の増員なくして、増大する行政需要に対応している。

電算化以前は、ハードな残業やパートを雇用して事務を遂行してきたが、OA化により改善された。また、電算委託の中に印刷費や消耗品等も含むことから、徴税経費は以前に比べ三分の一程度に減少したとみている。

計画、秘密保持についてどう考えているか。

昭和五十六年から六十一年までの職員の増減の実態を示せ。

電算処理会社へ初めて業務委託した昭和四十一年から六十一年末までの費用は約二億円である。

最初に電算事務を導入した税務課の例によると、委託料の対人件費割合は、五十六年度一六・二％、六十一年度二一・七％ほどで、委託料は大体職員三・五人分相当支払っている。職員数は昭和四十五年当時二十六名、現在十九名で対応しており、余力を課税の公平化のための調査、収納率の向上などに向けている。

**大量処理は  
業務委託**

**進学指導は適切か**

新川学区の普通科の競争率が他の学区と比較すると低く職業科が

高い。これは学校側や進学担任教師の普通科重視、職業科軽視いわゆる成績順に繰り上げしていると聞か、町の三中学校の進学指導は適切に行われているか。

入善高校農業科を卒業し農業に従事する人数はどのくらいか。

農業科を農業化学科か生産化学科にし、地域農業振興や農業後継者の育成に役立てるためにも、県教委に働きかける考えがな

いか。

町長

進路指導は、やはり本人の意思を十分尊重して行うことが基本であるが、先生方は本人の希望、能力や資質等の整合性を図って指導することもあり、若干本人希望とずれる場合もあると思う。

農業科を卒業して農業に従事する人は二、三名と聞いている。農業科の内容面の変更に付いては、その地域の実態に合致した教育が望ましいことから学校側と十分連絡を取り、必要に応じて県に働きかけたい。

教育長

進路指導は、三者懇談の形をとっており、先生は学業成績を見て合格の安全度等のアドバイスをするが、最終的には本人や親の希望を尊重している。

バード・パークに協力を

問

町のイメージアップと、観光客誘致による農外所得の向上、地域

住民の雇用安定を目指し、新しい農村づくりを行う観光農業、バード・パーク（鳥公園）構想に対し、税法上の問題、実現に向けての手法、そして実現した場合町は積極的に助成する考えがあるか。

町長

低温、積雪のある本町では、なかなか困難だと思うが、そのような構想が実現できるとすれば、精いっぱい支援したい。

農政課長

りんご農園のようなものであれば、農地法に基づき、農地を農地として利用するものであるが、バード・パーク、又はアニマル・パーク（動物公園）的性格のものは、農地転用に伴う許可が必要になる。経営方法としては、個人、任意の組織あるいは法人格とあるが、税上の問題から見れば法人の方が有利であろう。



O・A化で事務能率がアップ＝総務課＝

# 西入善駅 委託業務の存続を

野坂俊一 議員(自民)

問

四月一日から分割・民営化により、入善町もJR西日本旅客鉄道株式会社（株）の範囲内にはいり赤字駅の整理合理化は至上命令となってきた。地元住民は西入善駅の存続について非常に心配しているが、金鉄局の意向はどうか。

今年度予算に七十万円計上されているが、現在いる二人の女子パート人員はどうなるのか。また清掃、暖房などの管理面をどうするか。

町長

三十五年七月一日に西入善駅が開業された。四十七年の国鉄合理化の一環として、県内では西高岡、東滑川、越中宮崎、西入善が無人化されたが、西入善駅については地元の強い要望もあり、委託業務駅として今日に至っている。

利用者は一日平均二百名、そのうち定期利用者は百五十名、一般利用者は大体六十名程度である。一般利用客一日六十名前後という実態を踏まえ、町では委託業務廃止を前提に議会、特に地元の西入善駅運営協議会の皆さんと十分協議を重ね、理解をいただければ無人駅ということに対応したい。

現在の女子パート二名は本人の希望を十分尊重し誠意をもって対処する。

町としては七十万円の従来なみの予算を計上しており、地元の意向に反して、直ちに今年度から廃止をするというような気持ちはない。

## 委託を廃止し無人化

問

三十五年の開業当時は土地を提供し、また複線化になった時も地元として協力した経緯がある。営

利会社になったからといってつぶしてしまうということは断じて許せない。経費節約のためなくするということではなく、大衆が降り降りするのだからどんなことがあっても守ってもらいたい。

町長

駅の廃止ではなく、委託業務の委託業務をやめて無人駅にするという考えである。

西入善駅の建設については地元の皆さんも用地を提供され、町としても相当の予算を支出したと記憶している。国鉄合理化や赤字解消のためとはいえ西入善駅を廃止するということであれば、地元の皆さんの足を確保するという観点に立って議会の皆さんとも協力して、金鉄局のみならず国鉄本社で座り込みをするというようなことまでしなければならぬと考えている。



委託か無人化か＝西入善駅＝

# 土地改良事業の補助率はどうかなるか

松沢孝衛議員(自民)

問 土地改良事業は町の基幹産業である農業にとって欠くことのできないものであり、公共的な性格をもっている。各種補助金の見直しに合わせ、土地改良事業の補助率も引き下げられるのではないかと心配しているが、町の考えはどうか。また市街地の水路整備に負担金を取っているか。徴収しやすいい農家はかりから取るとは行政の片手落ちで不公平でないか。

できるだけ  
単年度補助に

町長 過去に義務づけられた債務負担



コンクリート壁で川幅を半分にした下山用水

行為による補助金がこれ以上大幅にふえることは、本町の財政構造からみて歓迎できないし、財政の硬直化につながるため、財政の許す限り、できるだけ単年度補助と基本的には考えている。

土地改良事業の負担基準は、かんがい排水事業では国庫五十%、県費が二十五%、地元が十七・五%、町費が七・五%になっている。土地改良総合事業は国庫が四十五%、県費が二十五%、町費が用排水は五%、農道十五%と、したがって地元では用排水が二十五%、農道は十五%の負担率になる。

今、国の方でも各種補助金を高率のものについては十%カットを

## 行政審の答申に どう対処したか

問 五年前に民間の意見を取り入れるというところで各種委員会等が数多くつくられた。その中でも行財政審議会の答申については内部組織である行政改革検討委員会で検討されていると再三申されていたが、答申すべてを解決されたのか。今も引き続き検討されているのか。また今後、行政改革についてのどのように取り組んでいかれるか。

助役 昭和五十七年十一月に行財政審議会を設置し以来二か年にわたり行政改革について検討され提言を受けた。これらについて庁内で組織する行政改革検討委員会で鋭意その実施に取り組んできている。

引き続き行う方針を打ち出している。補助金がカットされれば町の持ち出しを余計しなければならぬ。入善町には十一の土地改良区があるが、それぞれの仕事に対して町が一定の率の補助金を出すことは、財政的な面で非常に困難であり、補助率の見直しが必要である。これも土地改良区の皆さんと十分相談し、理解と協力をいただく中で対応したいと考えている。

入善土地改良区で入善用水等の改修を進めているが、入善用水などは農業用のほかに都市排水的な面もあるので、総合的に判断して町の負担率を高くしている。

## クラブ活動に スクールバスを

問

町内各小中学校ではクラブ活動が盛んで多種にわたりスポーツが取り入れられているが、他の学校と親善試合をする場合はスクールバスを運行できないか。

二台あったスクールバスが六十年度に一台廃車され、もう一台も

## みなさんも傍聴においで下さい



三月十二日の傍聴光景

五十四年購入で八年近くになるが、今後どう考えているか。

教育長 西中のスクールバスは冬期間の運行、あるいは短時間に通学するという目的で用意している。冬期間外の季節は一般町政バスになり町民全体の行事、ニーズに応え運行している。いかに調整をしてもこれ以上学校の方へ余計振り向けるといふことはできないのが現状であり、派遣選手補助金の増額などで対応している。

今後新たにバスを購入するか、あるいはスクールバスを委託するかは今後検討したい。

# 行政視察報告記

## 長野県飯山市

### 市民と行政が一体となった 活力ある雪国づくり

板川清治議員

二月十二日、議員一行は雪対策について、日本有数の豪雪地帯と言われる長野県の最北端に位置する「飯山市」へ研修視察に行きました。

戦国時代、上杉謙信と武田信玄がその勢力を信濃の国に争い、川中島を中心に十余年間の攻防を繰り広げ、謙信が天下統治の前進基地として千曲川のほとり飯山に要害を見立てて構築したのが飯山城であり、この城を中心に城下町が整えられ、近隣の地域が開発されて現在の飯山市が形づくられた。

#### ◎雪対策の経緯

昭和三十一年に雪害法が制定されて以来、近代的な除雪対策が進められ、主要道路の交通を確保する「線対策」、あるいは、山間集落の交通確保が主な課題であった。最近では、都市の雪対策が取り上げられ、住民生活の多様化と共に、雪対策も大きく変化が求められるようになった。特に、五六豪雪は既存の雪対策



クアハウスで温泉経営などの説明を聞く  
—野沢温泉村—

策では多くの問題を提起することになり、雪による障害や影響が新たな形となって現われてきたため、生活環境の改善を含めた新しい雪対策などの総合的雪国づくりが必要になってきている。

#### ◎飯山市の雪国づくり

総合的な雪対策を進めると共に、飯山市の発展を目的として「飯山市雪国地域づくり市民協議会」を設立しており、この協議会を主体として冬期生活に関する様々な問題を研究しながら、その解決策と発展策を模索し、市民と行政が一体となった雪国づくりを進めている。

- ①「飯山市冬の暮らしを明るくする条例」の制定(昭和五十五年十月)
- 市民と行政の雪に対する役割分担を明確にし、市民運動として実践することによって、雪意識を高める目的で制定されている。
- ②雪国地域づくりモデル計画の

策定(昭和五十八年)「雪国三大要素」  
(I)無雪地域づくり(夏場と変わらない行動を可能とする除排雪体制の確立)

従来の市直営から民間委託へ全面移行し、降雪十五センチで委託業者の判断で出動する体制をとる。

(II)耐雪地域づくり(雪が降っても影響されない都市の建設)

。散水消雪の工事費に対する地元負担は無し、電気代のみ三十%負担。

。無散水消雪(市重要歩道)方式の一部設置(地下十五センチの所に配管し地下水を通す方法)。

。融雪式市営住宅を試験中。

③利雪地域づくり  
雪を地域資源としてとらえた積極的な活用。

(I)雪を年中保存する保雪施設の開発

## 長野県野沢温泉村

### 38か所の源泉 恵まれた観光資源

九里郁子議員

宇奈月町明日地内の町有地に湧出した温泉の有効利用は町民の注目するところである。

入善町議会議員一行十六名は二月十三日、野沢温泉村を視察した。野沢温泉村は、長野県の最北端に位置し、人口約五千人、総面積五十八・四平方キロ、海拔五百七十二メートルの山林地帯の村である。一

(II)野菜や種苗の貯蔵

(III)寒冷による抑制栽培(アスパラガス、ウド、イチゴ、ユリ類)

(IV)雪と親しむため「飯山雪祭り」の開催

(V)雪意識高揚のため技術フェア

。又はシンポジウムの開催

(VI)雪を産業に生かしたスキー産業(市内6箇所)があり、年間約八十万人のスキー客が訪れる。

以上、飯山市の総合的な「雪国づくり」の中味をまとめて報告しました。

最後に、活力ある楽しい「雪国づくり」が住民によって進められ、住民の英知と熱意に基づく実践は雪がもたらす宿命を克服し、活用する新しい「雪国時代」を切り開く基礎になっていることがよく理解でき、なにより「収穫」となりました。

般会計の規模は二十三億六千万円、企業会計(村営スキー場)は二十五億円である。豪雪地帯で知られ、毛無山(標高一千六百五十メートル)山麓に広がる野沢温泉スキー場は、ゲレンデ、施設等、日本有数のレベルを誇っている。

年間観光客は百万人(冬季八十万、夏季三十万人)、旅館二十

六軒、民宿三百七十五軒を有し、農業と観光を主産業としている。

視察の目的は、村営温泉健康館（クアハウスさわ）の建設までの経緯、温泉（湯）の確保、施設の管理、運営などである。

野沢温泉は二十八か所の自然湧出をはじめ三十八か所の源泉があるが、旅館や民宿のほとんどが内湯をもたないため、外湯と呼ばれる十三か所の共同浴場（無料）を利用している。

昭和五十五年、旅館組合から村に村営の観光客用温泉施設（現在の温泉健康館）を建設してほしいとの要望が出された。しかし、議会で否決された。翌年再度陳情され、ようやく採択となった。ところが、村で二か所のボーリングをしたが温泉は出なかった。

そこで村は、（財）野沢会をはじめいくつもの個人所有の温泉から給湯してもらうこととなった。（財）野沢会等は旅館に対し、優先料十萬円（三年間）、温泉使用料、毎分五升（九リットル）を一口として、一か月四萬円の条件で貸付けている。

村に対しては、温度摂氏七十度毎分九十リットルの温泉を、年間四百八十萬円（月四十萬円）で貸付けている。

温泉健康館は、観光資源の有効活用を目的としたもので、村民の利用は、第二義的に位置づけられている。利用者は昭和六十年七万七千人であるが村民の利用は約三分の一にすぎない。

村営で管理し、観光課の所管と

なっている。職員八名で正規職員が一名、委託職員が七名である。年間経費は、約五千五百万円。

# 常任委員会

## 審査のあらまし



委員長 野坂俊一

務会  
総委

### 〔税制改革も必要〕

国の予算は前年度に対し〇・二%の伸びとなったが一般会計歳出は五年連続で前年度伸び率ゼロに抑制された。県の一般会計予算は前年度に対し四・一%の伸び率となっておりが円高不況、国庫負担率の引き下げ影響を受けている。

昭和六十二年度の当町予算も前年度に引き続き実施された国庫負担率の引き下げや、町税、地方交付税などの増加も大きな伸びを期待できない反面、人件費、公債費、扶助費等の義務的経費が増加しているため、予算編成に当たっては苦勞されたものと推量する。

売上税は国会論議のなりゆきを

スキーマ、五百名規模のキャンプ場など有力な観光、レジャー資源をもっている。

事務改善の一端として土木設計積算契約管理などシステム開発していくこととなっているが、成果を多いに期待する。

分譲宅地特別会計の分譲宅地事業は早いもので十五年、遅いものでも七年余も経過している。公共的なものは一般会計で、応益にかかわるものは地元と、そろそろこの会計を閉鎖する時期にきている。



委員長 佐藤学英

文教厚生  
委員会

### 〔文教・福祉に配慮〕

文教厚生委員会に付託された予算額は十九億七千九百二十万円で前年より一億六千九百六十四万七千円減であるが、この要因は完成した飯野小学校建設費、約三億円の減によるものであり、実質的には一億三千万円の増額予算と評価出来る。今年度の目立つ事業としては、老朽化した小摺戸保育所の改築や上青小学校のプール建設のほか、在宅虚弱老人の福祉向上、三世代間交流の場、高齢者の憩いの場としてのデイスーパーヒス地域交流ホーム建設など、厳しい財政下にあっても積極姿勢と努力がうかがわれる。

町債については、今後の最も大きな行政課題である入善小学校の建設、中央通り線の着手等大変多くの予算を費やすので、全収入の確定を見て、余裕があれば、つとめて借り入れしないようお願いする。

家庭奉仕員の待遇改善は入善町のみの問題でなく、県下の実態を

見ながら他市町村、あるいは県と連携を取りながら改善を図っていく必要がある。

生ゴミの処理器百器購入助成はゴミの減量化につながる施策として時宜を得ている。住民へのP・Rを怠りないようお願いしたい。また不燃物の埋立地の造成費を計上してあるが、迷惑施設であることから、地元とのコンセンサスや埋立後の植栽など影響を及ぼさないような配慮が必要である。

### 〔上青小プール施工法で再協議〕

上青小学校のプール建設については、地元から南側で建設してほしいと請願があり議会で採択されているが、現在、北側で計画されている。日照の問題やビロテイ方式によるプールの建設について、多くの異論が出されたので、施工方法について改めて委員会を開催し協議したい。

町民会館は開館以来、大変多くの方に利用され喜んでいられる。今後も維持管理、運営面に英知を結集して行かれんことを望む。

入善小学校建設は早期着工、早期完成に向けて財源確保に努められたい。

日帰り人間ドック事業は国保加入者は国保会計から五千円を援助する。他保険者は一般会計で援助するとなるが大変不公平になる。一般会計でこの事業を対応するか、繰入れ金で国保へ支援するか、早急に対応されたい。

保育料の徴収基準を規則で定め

るか、議会の権限として条例化するかが論議を呼んだ。県内の全市町村が規則で定めていることなどを考えれば、規則でも結構だが、議会の意向も十分反映されるよう決定前に協議されることを要望する。

老人福祉センターの入所料の値上げは、公衆浴場より安くしてもらいたくないとする業界の要望や管理費への補填などが主な理由だが、ゲートボール場設置、送迎、イベントの充実などサービスでこれを還元していくことで結着を見た。老人の方への理解と、今後、事前に考え方を協議されたい。



委員長 早川 誠一

### 産業建設委員会

#### 〔生産性の高い農業へ〕

産業建設委員会所管予算は、前年よりも三千八百七十三万八千円増の十七億五千四十一万四千円となり、二ポイント増、予算に占める割合は三十一・七%である。一般会計は、前年よりマイナス一・五%減であり、苦しい財政の中から住民ニーズに応えていると評価する。

厳しさを増す農業情勢に対応していくためには、生産性の高い農業、産業として自立できる農業の

確立が重要である。そのためには町としてもいろんな施策を考える必要があると思うが、予算上では六十万円のはかは、何ら目新しい施策が打ち出されてない。できる限り補正対応策を考えて行かれることを要望する。

各種団体への補助金見直しをはじめ、駐輪場の建設など大いに評価する。ただ駐輪場の設置に当っては場所の選定、通勤者の利便性等考慮され慎重に対応されたい。また町の観光開発については、観光農業への取り組みも検討されてはどうか。

君島栢山寺線は国道8号線の拡幅に伴う取り付け道路や舗装の施工等、解決されていない問題があり鋭意取り組んで行かれるようお願いする。

#### 〔中央通り線に積極的取り組みを〕

念願の中央通り線整備事業は調査負担金の計上や地元の事業促進協議会の発足など、いよいよという感じである。これが着手となる等、移転の問題、開発構想上の問題等、苦勞の連続かと思われるが、町長以下スタッフが一丸となって入善町の発展、商業の活性化のため積極的に取り組まれることを熱望する。

勤労者福祉センター、あるいは産業展示会館など、町の保有する建物の維持管理について、経費節減のため管理方法を検討願いたい。

## 表彰

### 自治功労者に 上野幸一氏



上野幸一議員の長年に亘る議員活動に対し、自治功労者として全国町村議長会会長から表彰されることになり、三月二日、富山県町村議長会総会の席上で表彰状が伝達されました。

## 編集後記

◎つい先日まで茶色っぽかった田んぼが一面に水をたたえ、キラキラ輝いています。

四か月後には穫り入れとなりますが、転作拡大や米価引下げなど米を取り巻く情勢はいよいよ厳しくなってきました。

とは言うものの、入善町は良質米の生産基地。今年も豊作であってほしいものです。

◎国会の予算審議や選挙戦を通じて全国を揺がせた売上税問題も、廃案がらみの議長あっせんのように一段落。

本町議会の三月定例会でもホットな論戦が展開されましたが、生活に直結する身近な問題だけに、今後の与野党の協議が注目されます。

◎議会だよりも四十九年に第一号を発行して以来、今回で第五十七号を数えました。

お固い内容ですが、できるだけ読み易く心がけておりますので、ご意見、ご批判をいただければありがたいと思います。

#### 議会だより編集委員

- 大林 政雄 早川 誠一
- 若島 信行 岡島松次郎
- 野坂 俊一 広瀬 義孝
- 佐藤 学英 本多 幸男